

小學校用國民讀本
安積五郎編
卷之一

63
388

檢定申請本

K120.8
49
1

K120.8

49

1

安積五郎編

小學
校用國民讀本一

版權所有

集英堂藏版

校小學 國民讀本凡例

一本書は、小學校教則大綱の旨趣に基づきて編纂せるものにして、其の目的、專讀書科の用に供し、兼ねて、作文科の參考に、供せんとするに在り。

一本書第一卷は、近易適切なる事物に就きて、片假名、平假名の單語、短句、及び短文を掲げ、第二卷は、普通の變體平假名と、字音の假名とを交へたる短文より、近易なる漢字交りの文に及ぼせり。

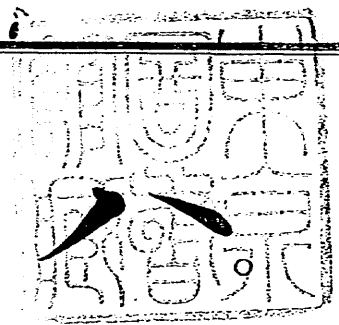
一本書材料は、主として、修身、地理、歴史、理科、其の他、日常の生活に必須にして、教授の趣味を添へ、且、兒童に理會し易くして、其の心情を快活純正ならしむるものを採れり、而して其の尊王愛國に關せる課は、每卷必之を掲ぐ、是れ讀者をして、專意を茲に用ひしめんが爲めなり。一本書文章は、平易にして、普通國文の模範を示さんことを要し、初めの二卷は、談話の體を用ひ、三卷は、談話と文章とを互用し、四卷以下は、單に文章のみを用ふ。

一本書談話は、悉く現今普通に用ふる言語に據る、然れども、其の野鄙なるものは、務めて之を避く。

一本書は、卑より高し、及ぼし、易より難し、進むる教授の趣義に隨ひ、或は課を追ひ、或は卷を進めて、假名漢字の數を加へ、漸く進めば、熟語の數を増す。

一本書は、文學の知識を啓發し、徳性を涵養せんとする目的を以て、唱歌を挿入し、日用書類及び行書體の文字を讀ましめんとする目的を

以て、書牘文を挿入せり。
 一本書第二卷以下は課を隔て、片假名、平假名
 を互用せり、是れ兩ながら必須にして、偏廢す
 べからざればなり。



ハナ

ミ

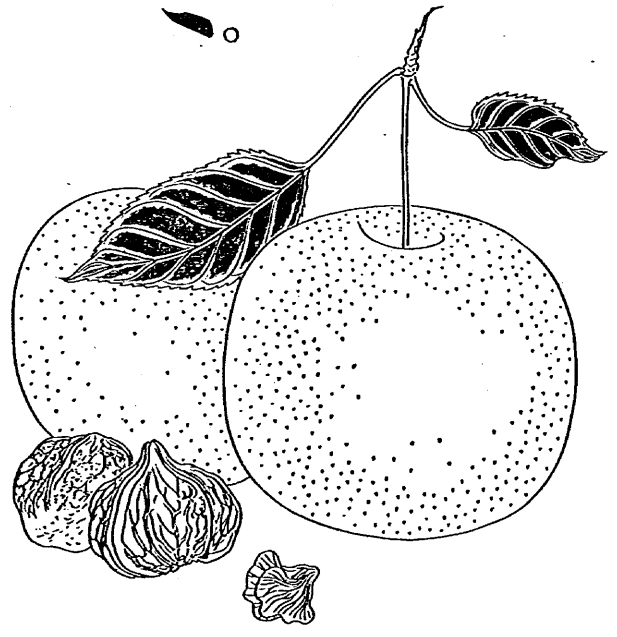
ナミ



ナシ

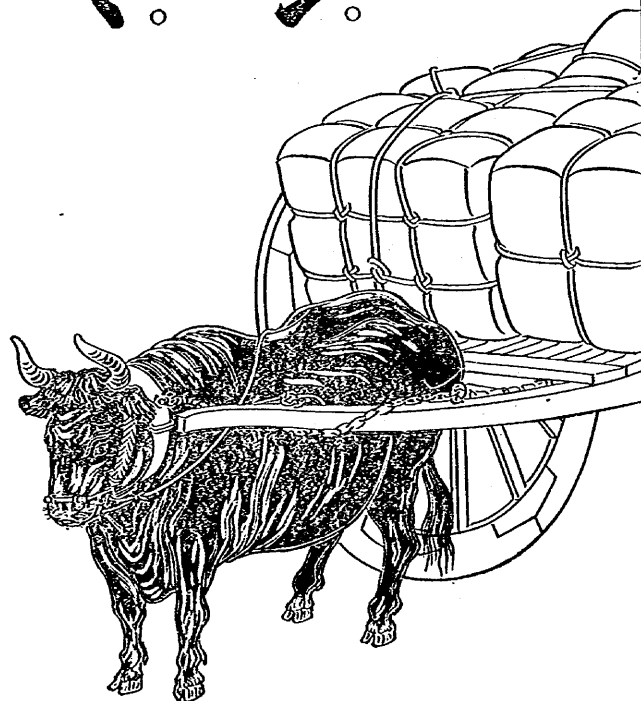
クルミ

シクル



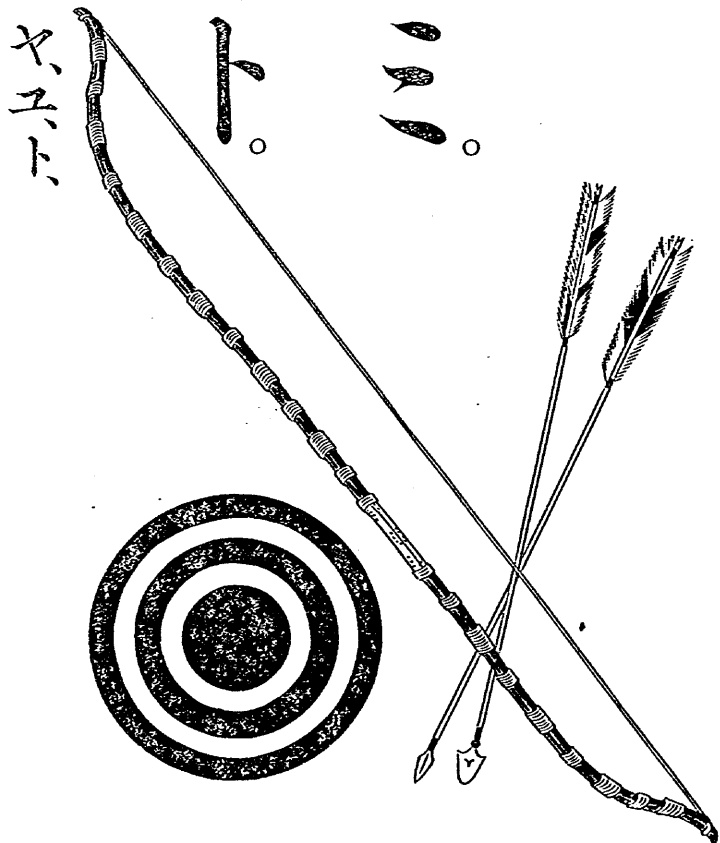
ニウシ。 クルマ。

ニウマ。



ヤ。 エ。 マ。

ト。 シ。



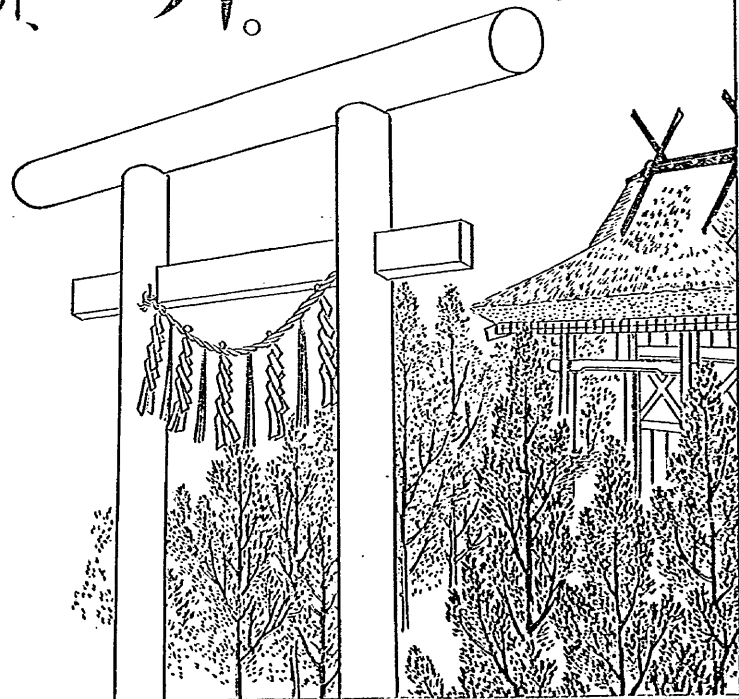
ヤ、エ、ト。

ヤシロ

ニ

トリ井。

口リ井、



ウメ

ト

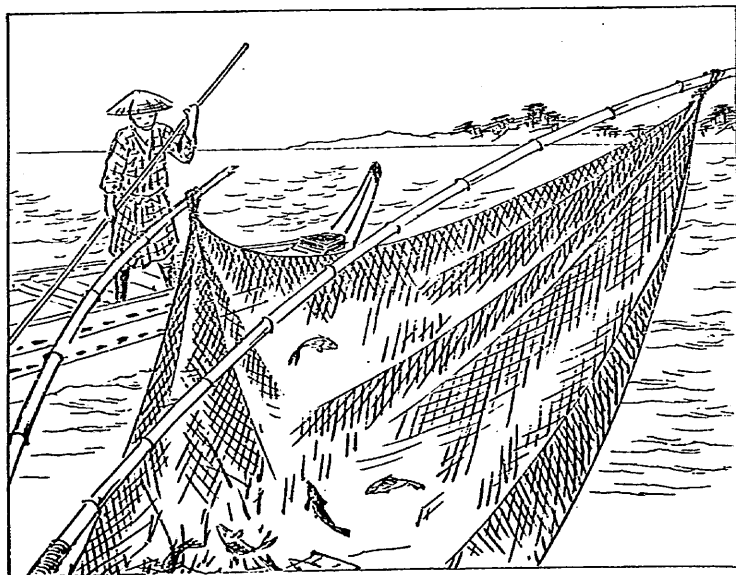
ス井セン。

メ、ス、セン、



アミニ
ウヲ
フネニ
ヒト。

ア、フ、フ、ヒ、



イヌ。
ネコ。
シロイヌト
クロネコ。

イ、ヌ、ネ、コ、





サカキテ

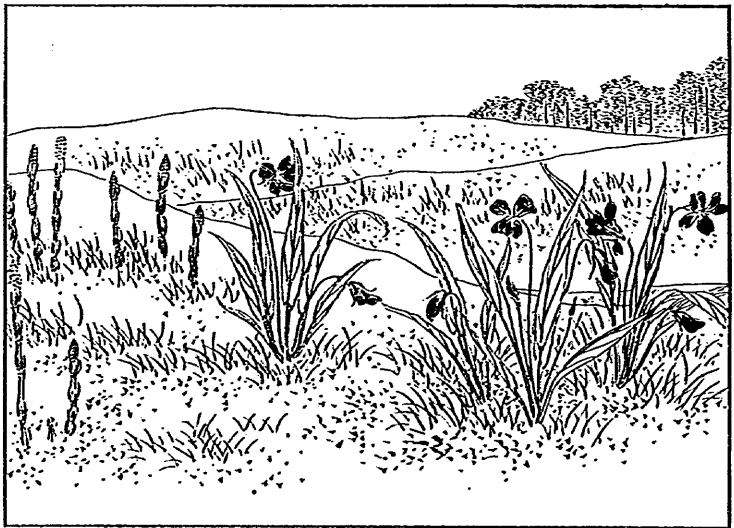
サル。カキ。

カキノキニサル。

サルノテニカキ。

ハルノ
 ノハラ。
 スミレト
 ツクシ。

ノラ、レツ、



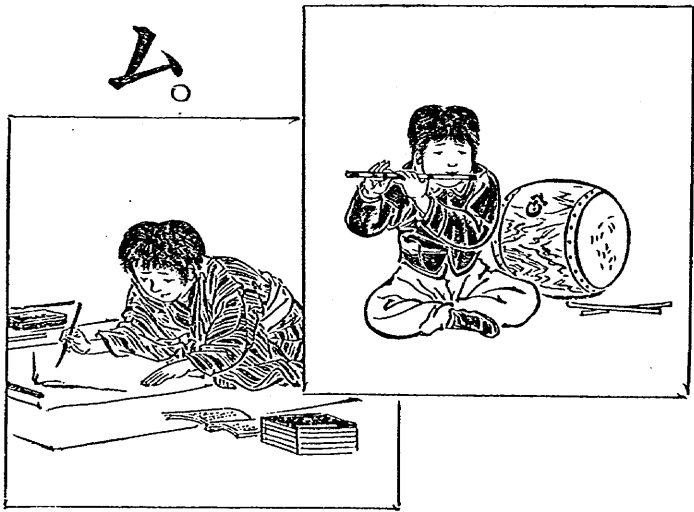
キニセミ。
クサニホタル。
ノハラニムシ。
ヤマオクニシカ。

ホ、タ、ム、オ、



フエヲフキ、
タイエヲウツ。
エモカキ、
ホンモヨム。

エ、エ、モ、ヨ、





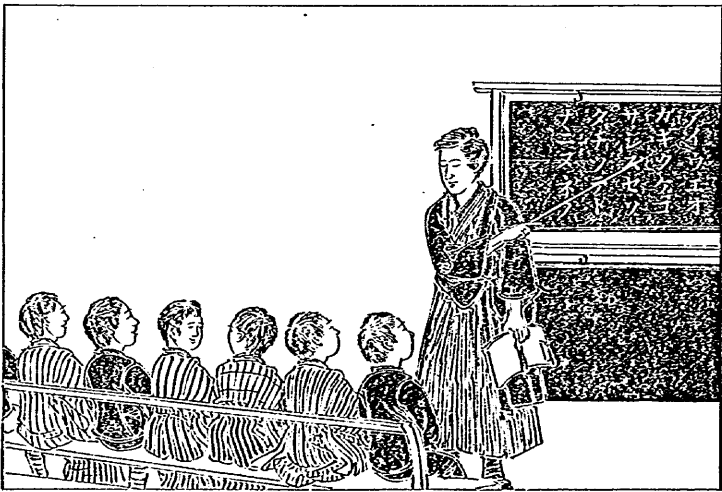
アノイケケノウチニ
アヤメアリ。

ソノヘイノワキニ

マツノキアリ。

ケチツ、ヘワ、

ミナサンノヨ
ミマシタカナ
ハコノウラニ
ミナカイテア
リマス。



ア	イ	ウ	エ	オ
カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ
タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ

ハ	マ	ヤ	ラ	ワ
ヒ	ミ	イ	リ	井
フ	ム	ユ	ル	ウ
ヘ	メ	エ	レ	エ
ホ	モ	ヨ	口	ヲ

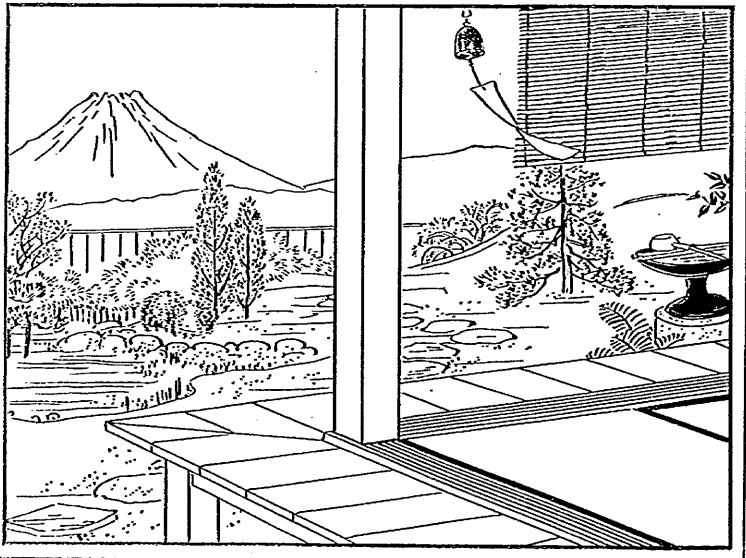
ウサギガカゴ
ノナカニヨリ
マス、トヲアケ
ルト、スグニ、ニ
ゲマス。

ギ、ガ、ゴ、グ、ゲ



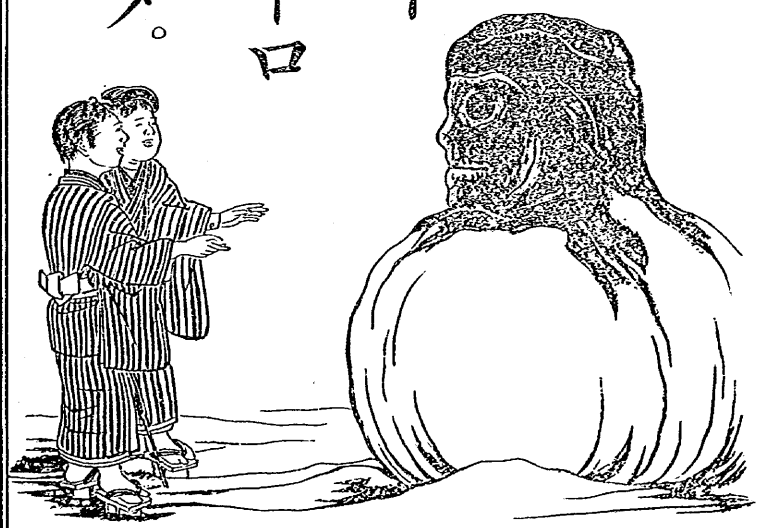
ユノザシキハタエ
ズ、ズ、ズ、シイカゼガ、
ハイリマス、ソシテ、
フジノヤマガ、ヨク、
ミエマスゾ。

ザ、ズ、ゼ、ジ、ゾ



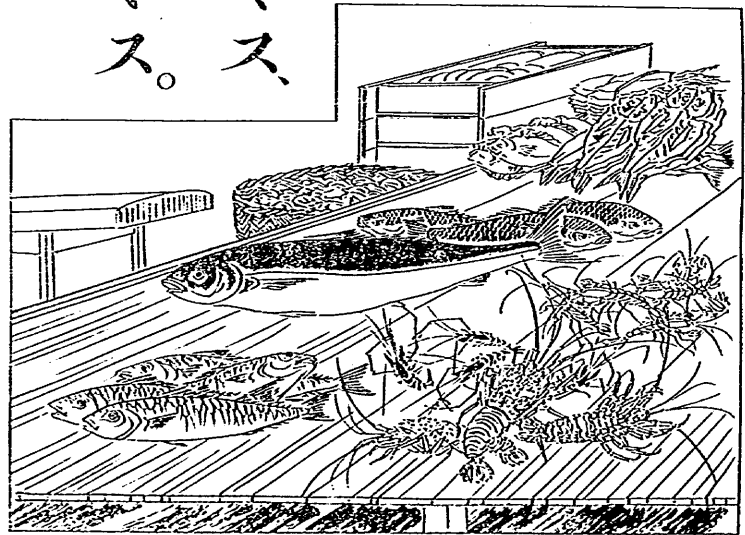
アルゴドモガエキ
 ダルマヲツクリテ
 オキマシタツレヲイ
 チワルイゴドモガドロ
 ミヅアヨゴシマシタ。

ドダ、チヅ、テ、



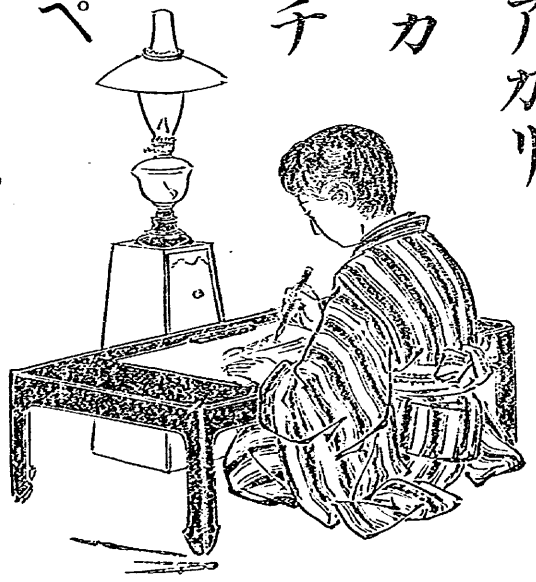
サカナヤノミセニ
 サカナガタクサン
 ナラベテアリマス、
 ボラヤブリモアリマス、
 サバヤ、エビモアリマス。

ベ、ボ、ブ、バ、ビ、

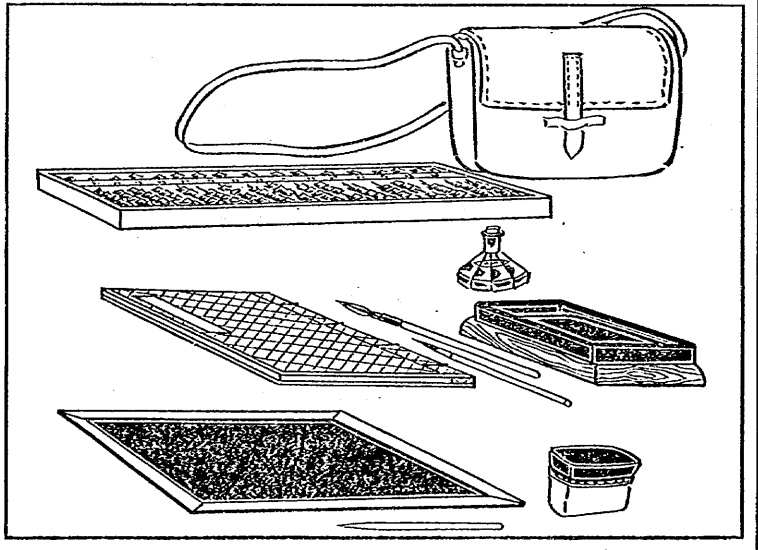


コドモガ、ランプノアカリ
 デ、ポンプノエヅヲカ
 イテ井マス、テニモチ
 テ井ルノハ、エンピ
 ツデ、シタニアルノハ、ペ
 ント、エンパスデアリマス。

プ、ポン、ピ、ペ、パ、



イマヨシダ、カナガ、
 マトメテ、ツギニ、カ
 イテアリマス、カラ、
 センニ、ヨシダ、カナ
 ト、ヨク、ヨミク、ラベ
 テ、ゴランナサイ。



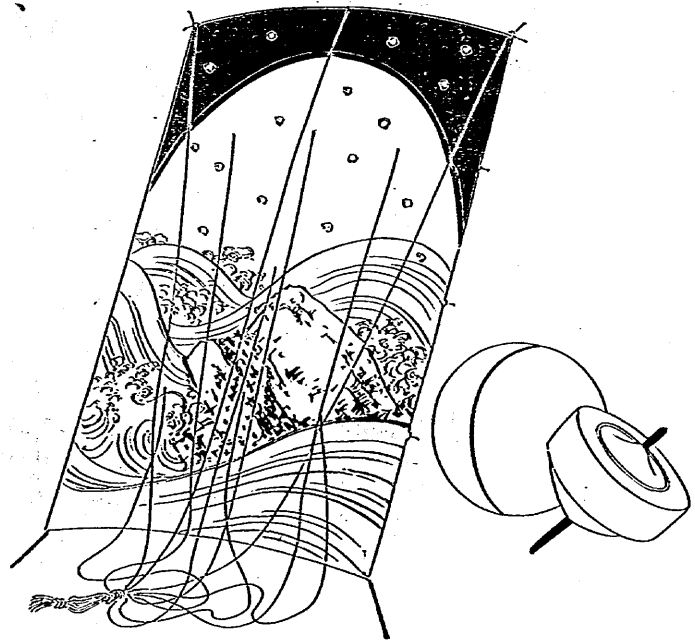
ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ
ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ
ダ	ヂ	ヅ	デ	ド
バ	ビ	ブ	ベ	ボ
パ	ピ	プ	ペ	ポ

コホリモトケテウメ
 モサキマシタキノウ
 ヘデナイテ井ルノハ
 ナニトイフトリテア
 リマスカアレハウグ
 ヒステアアリマス。



こま。
たま。
たこ。

こまた。



とり。
たまご。
とりの
たまご。

とりのたまご。



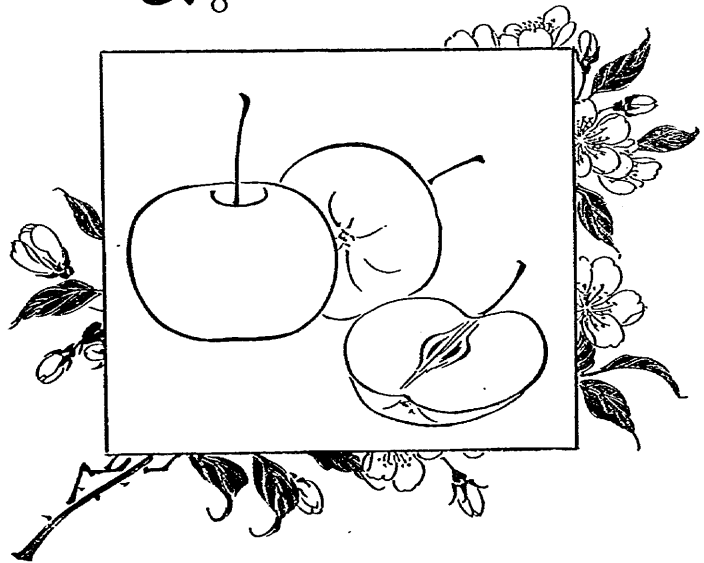
りんごの

み。

りんごの

はな。

んみはな、



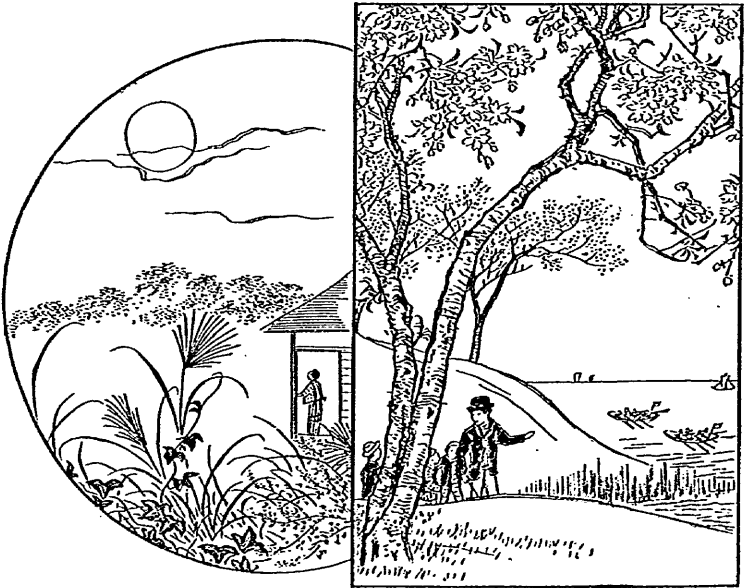
はるの

はなみ。

あきの

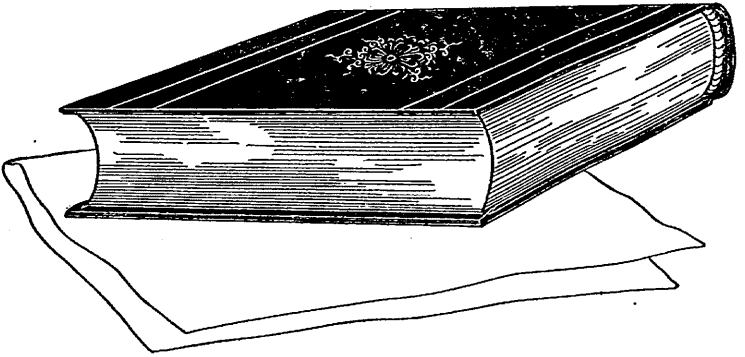
つきみ。

るあきつ、



ほん。かみ。あつきほん。
うすきかみ。

ほかうす。



まつ。いけ。まつにつる。
いけにかめ。

いけにめ。



うめ。やなぎ。

うめにうぐひす。

やなぎに

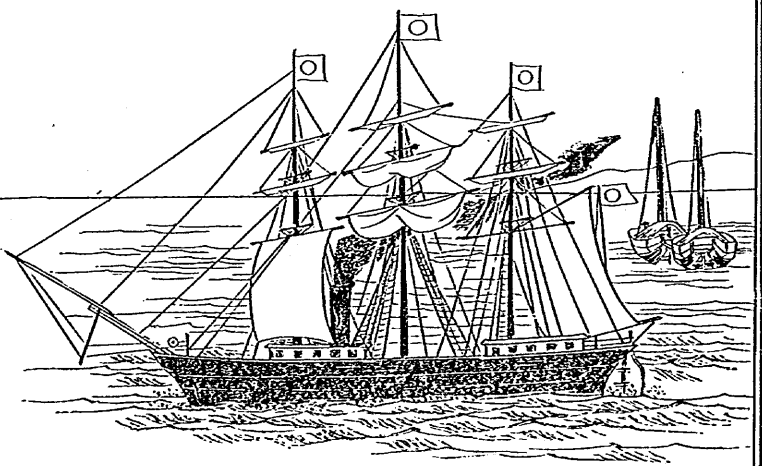
つばめ。

やなぎぐひす



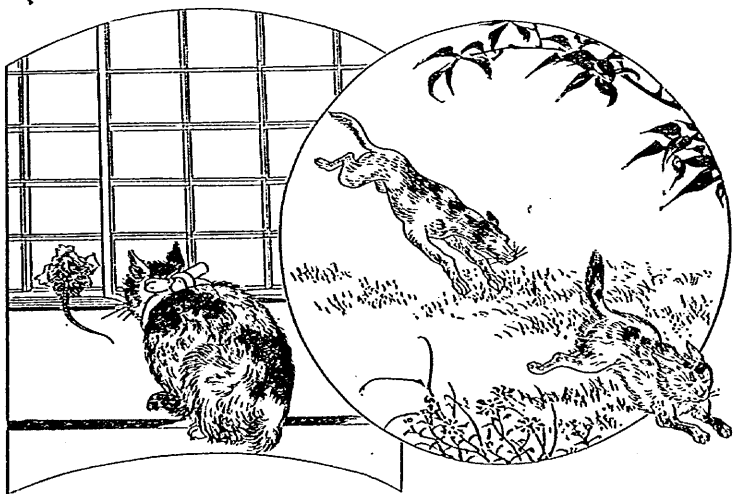
うみにふね。
ふねにほ。
ほばらの
うへにはた。

ふねうへにはた

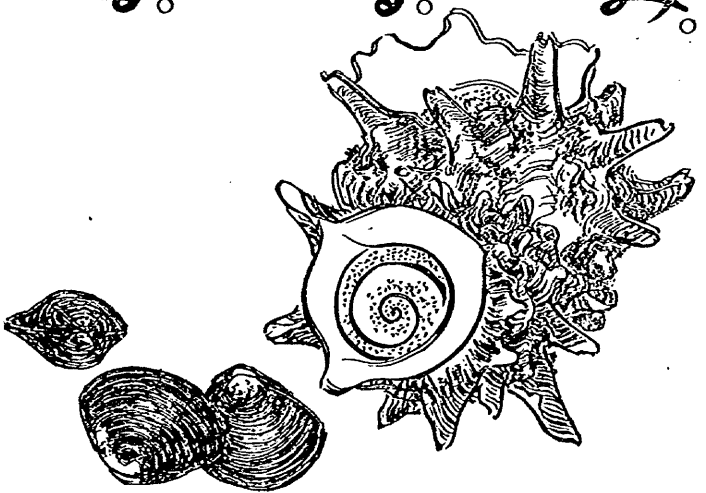


いぬ。ねこ。
 いぬがねこを
 たふ。
 ねこがねずみを
 ねらふ。

ぬがをたふす。



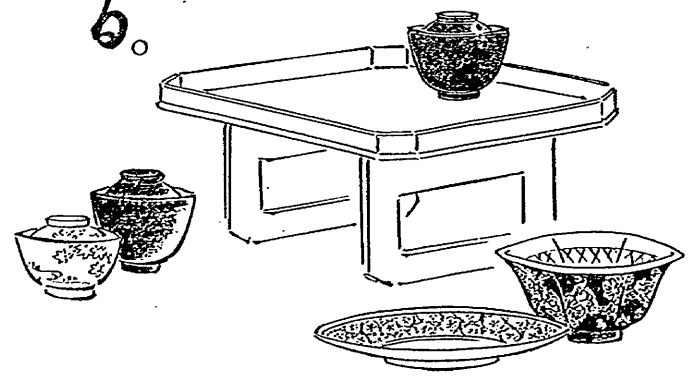
さざにどろみ。
 さざはは。
 うみよりとる。
 ーどみは。
 かはよりとる。



さざにどろみ

どんぶりむさくら。
 せんご、わん。
 どんぶりとせんごは、
 つちでつくる。
 せんご、あんごは、
 まきでつくる。

どんぶりとせんごは、
つちでつく。



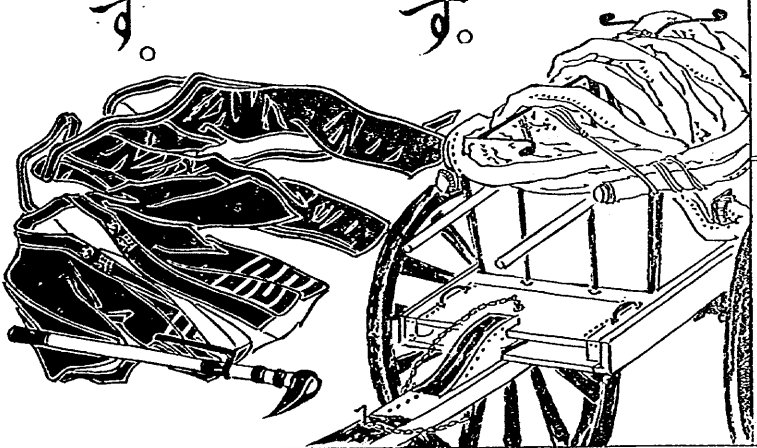
あきになりて、
 もみぢがいろ
 づいてまきまーした。
 やまは、まきごころに
 きれいになりて、
 きまーした。

て、もぢらづれ、



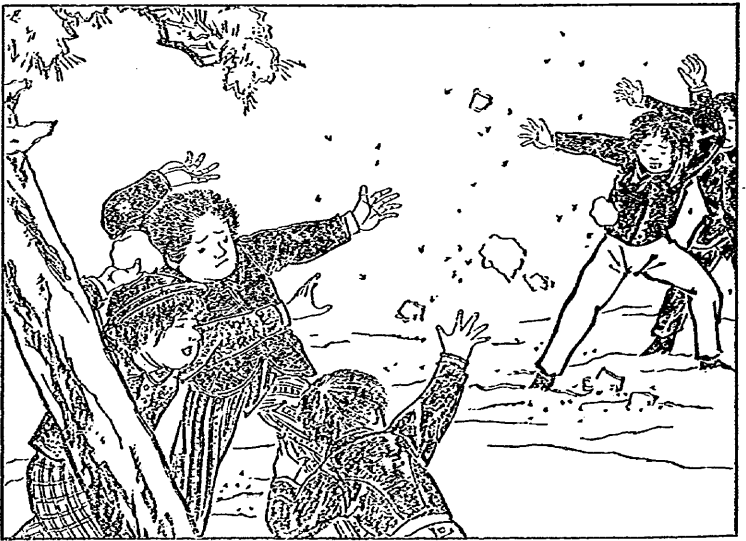
こびぐちや、
 ほんぶのるるは、
 ひけーなどがつかひます。
 はっぴや、
 ももひきのるるは、
 ーごーなどがきます。

びちほぶかひ、



このさむらにあ
 のこともらはゆき
 なげをーてあます、
 なんでもせいだー
 はたらいてさへを
 れば、さむくないも
 のであります。

むらゆげ、せた、



にはにうゑたは
たんのはながり
つばにさきま
たどうぢいつべ
んみにきてくだ
さいはいなんべ
んもあがりませう。

ゑぼはぢ、ペン



もはや、かない、みなよみをはりまゝた。
まへに、よんだのを、かたかなといひまゝ
て、あとでよんだのを、ひらがなといひま
す。このふたとほりのかなを、りてを
れば、てがみでも、いんぶんでも、かなでか
いたものなら、よめぬものは、ありませぬ。
―かゝおすれ、ては、よめませぬから、つ
ぎのづについて、さらへて、ごらん、なさい。

な _ナ	た _タ	さ _サ	か _カ	あ _ア
に _ニ	ち _チ	し _シ	き _キ	い _イ
ぬ _ヌ	つ _ツ	す _ス	く _ク	う _ウ
ね _ネ	て _テ	せ _セ	け _ケ	は _ハ
の _ノ	と _ト	ろ _ロ	こ _コ	た _タ

わ _ワ	ら _ラ	や _ヤ	ま _マ	は _ハ
わ _ワ	り _リ	い _イ	み _ミ	ひ _ヒ
う _ウ	る _ル	ゆ _ユ	む _ム	ふ _フ
え _エ	れ _レ	に _ニ	め _メ	へ _ヘ
を _ヲ	ろ _ロ	よ _ヨ	も _モ	ほ _ホ

は _ハ	ば _バ	た _タ	ざ _ザ	か _カ
ひ _ヒ	び _ビ	ち _チ	じ _ジ	ぎ _ギ
ふ _フ	ぶ _ブ	つ _ツ	ず _ズ	ぐ _グ
へ _ヘ	べ _ベ	で _デ	ぜ _ゼ	げ _ゲ
ほ _ホ	ぼ _ボ	と _ト	ろ _ロ	ご _ゴ

いろはうた

いろはにほへとちりぬるを

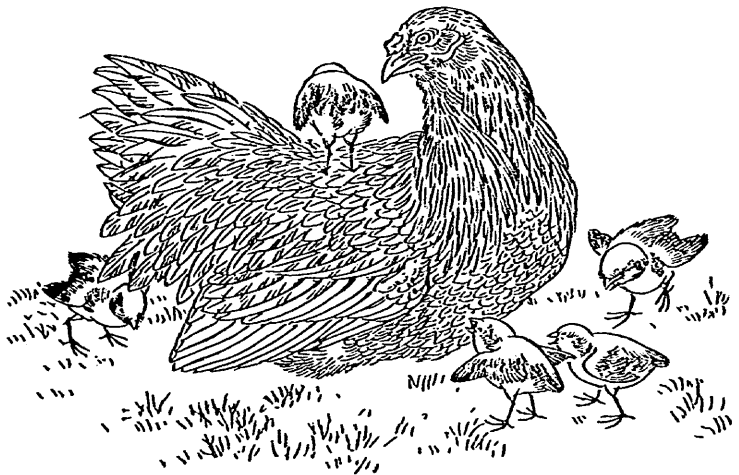
あかよたれろ つねならむ

うわのたぐやま けふこほて

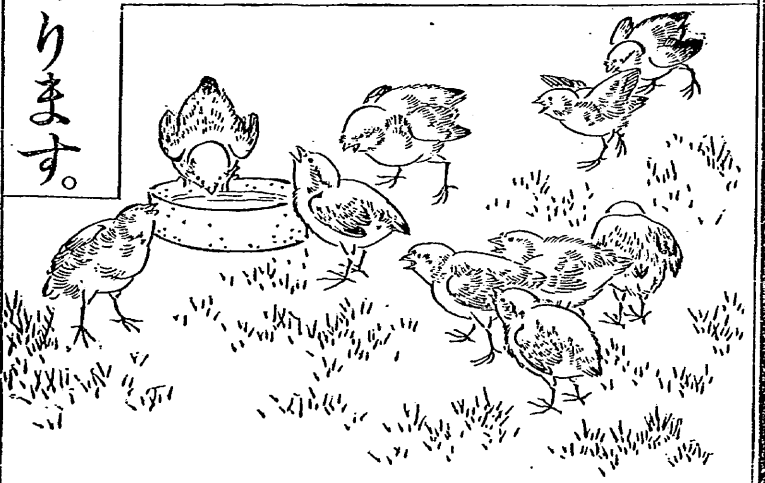
あさきゆめみ 急ひもせす

ここにめんごりとひよ
ことが、おます。一は、二は
三は、四は、五は、ひよこは
これだけで、ありますか。
いい、めんごりのつば
さのしたには、まだい
つも、かゝれておます。

一、二、三、四、五、



もーつばさのしたに
かゝれてゐるひよこ
が一はならば、この五
はと、おはせていんは
で、ありますか。六は
で、あります。もー二
はならば、いんはであ
りますか。七はであります。



三ばならば八は。四はならば九は。
五はならば十はであります。

六七八九十

一 二 三 四 五
六 七 八 九 十

をばり

K120.8

明治二十五年二月一日印刷
明治二十五年二月三日出版
版權

定價金五錢

編者

福島縣平民

安積五郎

東京市本郷區駒込西片町十番地

發行所

東京府平民

小林八郎

東京市日本橋區通旅籠町十一番地

發行所

集英堂本店

東京市日本橋區通旅籠町十一番地

賣捌所

各府縣下書肆

